

切除不能進行・再発食道癌に対するイピリウムマブ+ニボルマブ治療効果および有害事象の予測バイオマーカー探索研究

1. 研究の対象

根治切除不能な進行・再発食道癌に対して2022年6月から2025年3月までの間にイピリウムマブ+ニボルマブを投与した、または投与予定である患者です。

2. 研究目的・方法

【目的】

治療の効果や副作用などの反応を予測し、治療選択の一助となるバイオマーカーを探索する。

【方法】

以前の手術で切除した腫瘍組織や、内視鏡検査で採取した生検検体を用いて、治療効果に関連すると思われる因子を解析する。

研究機関は2028年3月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：手術もしくは内視鏡検査で組織検体等

情報：病歴、治療歴、血液検査や画像検査結果、副作用の発生状況等

4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

関西労災病院	益澤 徹
近畿大学医学部	安田 卓司
国立病院機構大阪医療センター	平尾 素宏
彩都友誼会病院	林 太郎
大阪急性期・総合医療センター	藤谷 和正
堺市立総合医療センター	西川 和宏
大阪国際がんセンター	宮田 博志
近畿大学奈良病院	木村 豊
関西医科大学	山崎 誠

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：大阪大学大学院医学系研究科臨床医学専攻外科学講座消化器外科学
土岐 祐一郎

研究代表者：大阪大学大学院医学系研究科臨床医学専攻外科学講座消化器外科学
土岐 祐一郎